



第73期 中間 株主通信

株主様へのご報告

2019年4月1日～2019年9月30日

● contents

株主の皆様へ	1
セグメント別事業の概況	4
トピックス	5
丸文の豆知識 ～丸文通商の紹介～	6
連結財務諸表	7
株式の状況	9
会社の概要	10
株主メモ	裏表紙

 **丸文株式会社**

証券コード：7537

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第73期中間期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の報告書をお届けしますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。

株主の皆様には、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
水野 象司



Q1

当中間期の事業概況を聞かせてください。

POINT

A1

売上高は前年同期比16.7%減の
138,703百万円となりました。

当中間期におけるわが国の経済は、雇用情勢や個人消費の改善が続いたものの、設備投資や生産、輸出に弱さが見られました。また米中の貿易摩擦や中国経済の減速

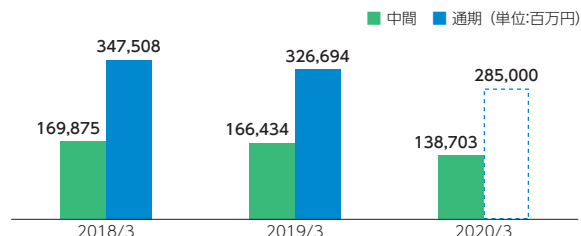
の影響も懸念され、先行きの不透明な状況が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、5G通信機器向け需要が堅調に推移し、データセンター向けでは回復の兆しが見られる一方で、スマートフォンや産業機器向けなどの分野が低調に推移し、DRAMやNANDフラッシュは価格下落が進みました。

こうした状況のもと、当中間期における当社グループの売上高は、デバイス事業の減収により前年同期比

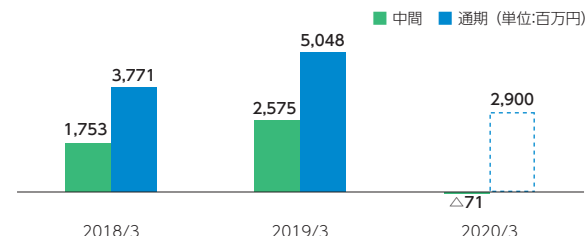
売上高

138,703百万円



営業利益

△71百万円



16.7%減の138,703百万円となりました。利益面では売上高の減少要因に加え、期中の円高進行で円ベースの売上総利益が減少したため、営業損益は71百万円の損失(前年同期は2,575百万円の営業利益)となりました。営業外損益では、為替変動による外貨建ての債務や借入金の決済差益など為替差益987百万円を計上したものの、経常利益は前年同期比47.6%減の323百万円、親会社株主に帰属する四半期純損益は110百万円の損失(前年同期は133百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

Q2 当期の見通しを教えてください。

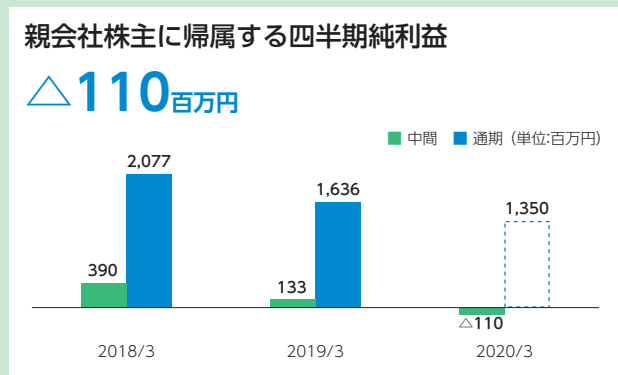
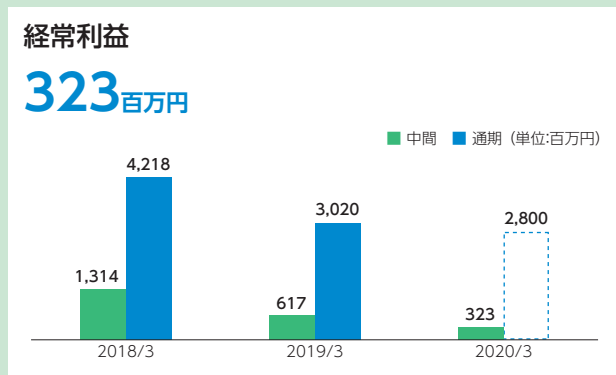
POINT
A2 売上高は285,000百万円(12.8%減)、経常利益は2,800百万円(7.3%減)を予想しています。

当期の売上高は、通信機器や産業機器、PC向け半導体の減少を見込み、売上高は285,000百万円(前期比12.8%

減)を予想しております。また利益面では、営業利益2,900百万円(前期比42.6%減)、経常利益2,800百万円(前期比7.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1,350百万円(前期比17.5%減)を見込んでおります。

※2019年5月10日に公表しました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、当社ホームページにて2019年10月31日付で開示しました「第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

■ 当期の見通し (単位:百万円)				
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前期実績 (2019年3月期)	326,694	5,048	3,020	1,636
当期予想 (2020年3月期)	285,000	2,900	2,800	1,350
増減	△41,694	△2,148	△220	△286



Q3

配当金について教えてください。

A3

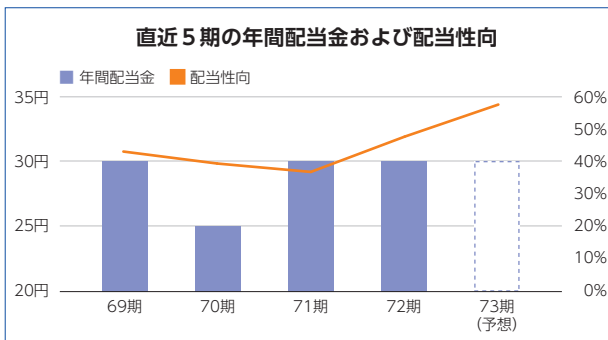
POINT

当中間期の配当金は10円とし、当期の年間配当金は30円を予定しています。

株主の皆様への利益配分につきましては、継続的な利益還元を基本としたうえで、業績に応じ積極的に利益還元を行うよう業績連動型の配当方式を採用し、配当性向を重視して決定しております。配当額は、連結配当性向30%以上を目安として決定していく方針です。

当中間期の配当につきましては、1株当たり10円とい

たしました。なお、期末配当につきましては1株当たり20円とする予定です。



社長交代のお知らせ

2020年1月1日付で、代表取締役社長に飯野亨が就任いたします。当社は、新たな経営体制のもと、環境の変化に迅速に対応し、事業基盤の構築と強化を推進してまいります。



いい の とおる
飯野 亨

生年月日 1959年3月7日

出身地 秋田県

略歴

1985年 6月 当社入社

2013年 4月 システム営業本部長

2015年 4月 執行役員システム営業本部長

2017年 6月 取締役就任

営業統轄本部統轄副本部長

2018年 4月 常務取締役就任

飯野から株主の皆様へ

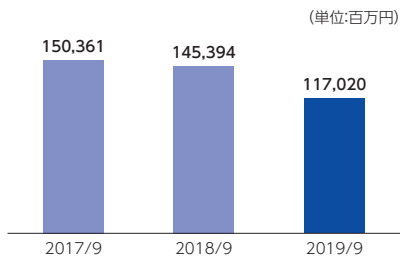
「業界に無くてはならない会社、オンリーワンを目指し、自律した強い会社」にしていきたいと思います。

デバイス事業

売上高 **117,020**百万円(19.5%減)

セグメント損失 **403**百万円(―)

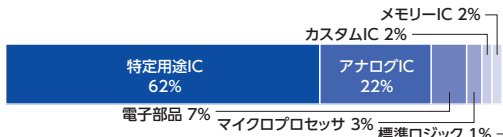
■売上高実績



■事業の動向

デバイス事業は、通信機器や産業機器向け半導体の減少および2018年10月1日付でサムスン電子製品の販売事業を譲渡したことによる減収により、売上高は前年同期比19.5%減の117,020百万円となりました。セグメント損益は、売上高の減少に加え、円高進行による仕入・売上計上時の為替レート差によって売上総利益が減少し、403百万円のセグメント損失(前年同期は2,187百万円のセグメント利益)となりました。

■品目別売上高



■主要取扱商品

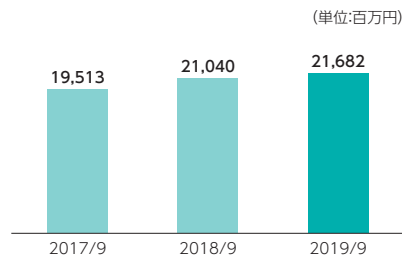
半導体 (アナログIC、標準ロジックIC、メモリーIC、マイクロプロセッサ、特定用途IC、カスタムIC)、電子部品 (ディスプレイパネル、水晶振動子、コネクタ、プリント基板、モジュール等)

システム事業

売上高 **21,682**百万円(3.1%増)

セグメント利益 **335**百万円(14.4%減)

■売上高実績



■事業の動向

システム事業は、産業機器組込用のコンピュータや半導体レーザー、人工衛星搭載用部品の需要が減少した一方で、医用機器の画像診断装置が順調で、情報通信機器の通信インフラ向け計測機器も売上が増加いたしました。その結果、売上高は前年同期比3.1%増の21,682百万円となりましたが、セグメント利益は売上総利益率の低下により前年同期比14.4%減の335百万円となりました。

■品目別売上高



■主要取扱商品

航空宇宙機器、産業機器、レーザー機器、情報通信機器、医用機器

Interop Tokyo 2019でグランプリ受賞 ～台湾Gorilla Technology社の認識系AIソリューションIVAR™～

当社は6月に幕張で行われたInterop Tokyo 2019 (以下、インターロップ) に出展し、[Marubun×ICT×時]をテーマに最先端技術や製品の紹介、市場動向を紹介するセミナーを実施しました。インターロップは、国内外から500社を超える企業・団体が参加するインターネットテクノロジーの国内最大級のイベントであり、審査委員会の審査により「今年の一作品」を決定するBest of Show Awardが行われています。

当社は、エッジコンピューティング部門で台湾の映像解析メーカーGorilla Technology Inc.社 (以下、ゴリラ社) のIVAR™を活用したエッジAIソリューションをエントリーしグランプリを受賞しました。

ゴリラ社製品は、人の顔や物体、車のナンバー等をAIを使って認識できるソフトウェアで、台湾や東南アジアを中心に空港や高速道路等の監視システムに多くの採用実績があります。

膨大なデータによるAIの学習が済んでいるため特別なハードウェアも必要なく、機能面・コスト面に優れたサービスの導入を機動的に行うことが可能です。

当社では、高精度かつリアルタイムのビデオ分析ソリューションをセキュリティ分野や産業分野等を中心に提供してまいります。

IVAR™ : Intelligent Video Analytics Recorderの略。

カメラの映像をリアルタイムにAI解析し、物体や人物の行動等の特定の事象を検知すると自動的にアラートを発報するシステムのこと。



〈上〉当社出展ブースの様子〉

〈下〉ゴリラ社IVAR™ エッジAIによる顔認識イメージ〉

Autotalks社と代理店契約締結 ～車載通信用高信頼性チップセットの取扱いを開始～

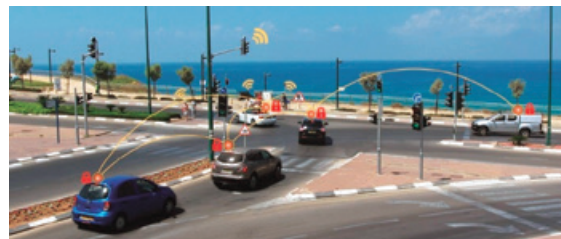
当社は6月、自動車通信用ICのリーディングカンパニーであるイスラエルのAutotalks Ltd. (以下、オートトークス社) と代理店契約を締結し、同社のV2X通信用チップセットの取扱いを開始しました。

オートトークス社はV2Xの2大規格であるDSRCとC-V2X (PC5) の両規格を単一のシステムオンチップでサポートする世界初の最先端車載用チップセットを開発しました。V2X通信システムは、急速に普及しつつあるADASや自動運転において、車載センサーからの情報を補完し周囲の交通情報や車・歩行者・障害物を把握するなど、欠かせない役割を果たします。同社のV2X通信用チップセットを搭載することで、自動運転に必要な各種センサーからの情報を補完して安全性・接続性・信頼性の高いコネクテッドカーが実現でき、衝突事故の減少やモビリティの向上が可能となります。

当社では、既に取り扱っている車載用デバイス商品ラインナップに、オートトークス社の通信用チップセットを加え、自動車部品メーカーや車載通信モジュールメーカーを中心に提案し、スマートモビリティの向上に貢献してまいります。



〈オートトークス社V2X車載通信用チップセット〉



〈V2X通信イメージ〉

丸文の豆知識

今回は丸文ビジネスの2本柱のひとつであるシステム事業を担う、「丸文通商株式会社」を紹介します。

丸文通商ってどんな会社？

石川県金沢市を本拠地として、医用機器や産業機器などの販売とメンテナンス事業を、北信越地方を中心に展開する会社です。

地場の行政サービスや企業活動に密着し、装置やアプリケーションに係る高度な専門知識と技術、豊富なノウハウを持ってお客様の多様なニーズに的確に応えています。

地域の発展にと
ても貢献してる
んだね!



丸文通商の歴史

- 1844年 ● 丸文(株)が東京都日本橋にて創業
- 1948年 ● 金沢出張所(現丸文通商(株))を開業
理化・化学機器取扱開始
- 1955年 ● 医用機器取扱開始
- 1961年 ● 金沢支店を強化・分離し、丸文金沢株式会社を設立
技術部門開設
- 1984年 ● 社名を丸文通商株式会社に改称
- 2010年 ● 株式会社北信理化(長野市)資本・業務提携
株式会社池田医療電機(新潟市)資本・業務提携
- 2013年 ● 株式会社北信理化を子会社化
- 2015年 ● 株式会社池田医療電機を子会社化

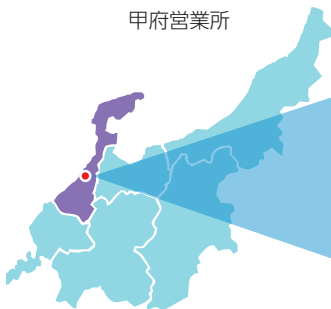


子育てサポートの企業として2019年9月に「くるみんマーク」の認定を取得しました。また、「健康経営優良法人2019(ホワイト500)」「健康経営企業」や「えるぼし」(女性活躍推進企業)の認定も取得しています。

所在地

本社所在地: 石川県金沢市松島1-40

支店営業所: 金沢支店、富山支店、福井支店、松本支店、長野支店、新潟支店、白山センター、七尾営業所、東京営業所、甲府営業所



〈丸文通商(株)本社〉

プロフィール

- 社名** 丸文通商株式会社
- 資本金** 1億円
- 代表者** 代表取締役社長 宮本 治郎
- 従業員数** 295名(2019年4月1日時点)
- 事業内容** 医用機器・分析科学機器・産業機械販売 機器保守サービス
- 主要顧客** 国立・私立大学、県工業技術センター、各種試験場、
国公私立主要医療機関、主要民間企業



〈代表取締役社長 宮本治郎〉

売上高推移



医用機器や科学・産業機器の販売と保守を通じて、豊かな社会の実現に貢献しています。

● 連結貸借対照表(要旨)

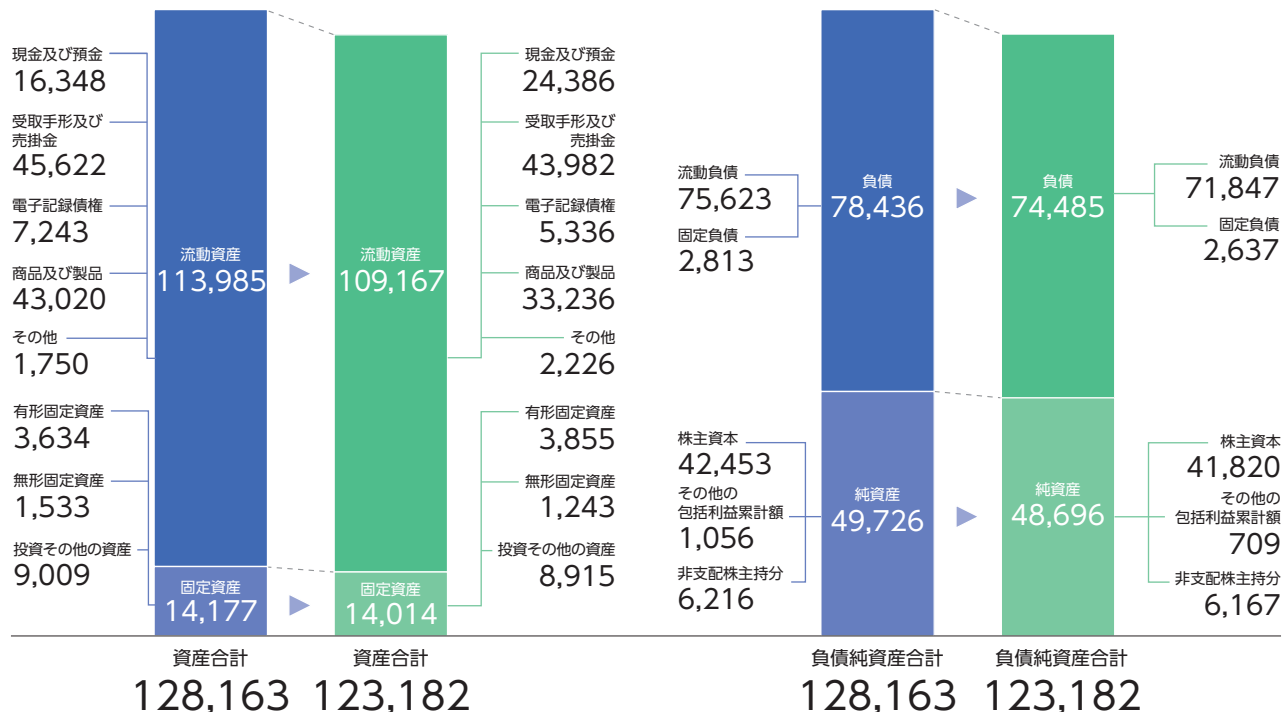
(単位:百万円)

前期末(2019年3月31日)

当中間期末(2019年9月30日)

前期末(2019年3月31日)

当中間期末(2019年9月30日)



■ 資産について

資産合計は前期末に比べ4,981百万円減少しました。これは主に「現金及び預金」が増加した一方で、「商品及び製品」や「電子記録債権」がそれぞれ減少したことにより、流動資産が前期末に比べ4,817百万円減少したことによるものです。

■ 負債について

負債合計は前期末に比べ3,951百万円減少しました。これは主に「支払手形及び買掛金」が増加した一方で、「短期借入金」が減少したことにより、流動負債が前期末に比べ3,775百万円減少したことによるものです。

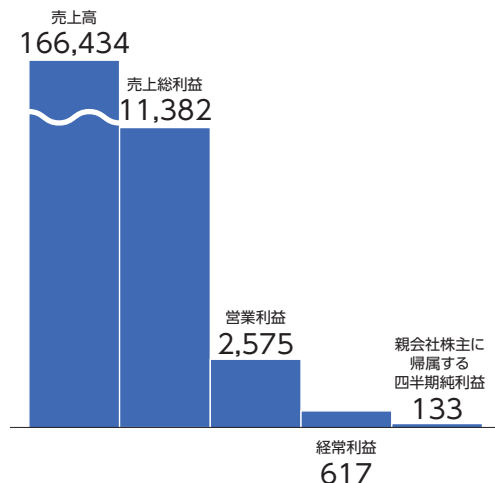
■ 純資産について

純資産合計は前期末に比べ1,029百万円減少しました。これは主に「利益剰余金」や「為替換算調整勘定」がそれぞれ減少したことによるものです。

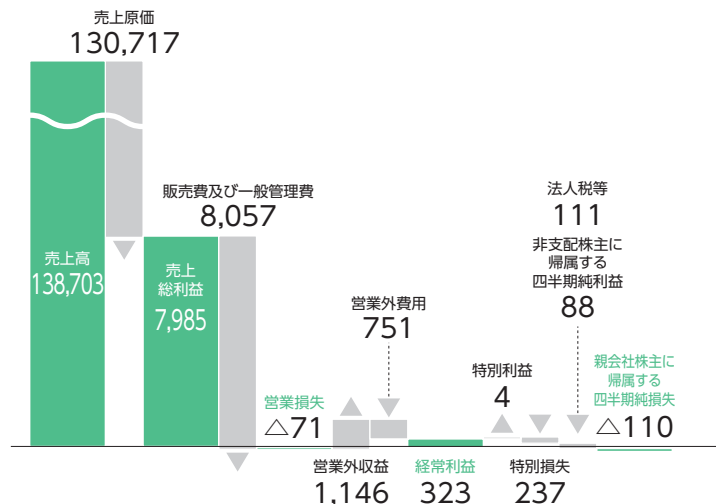
● 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

前中間期(2018年4月1日～2018年9月30日)

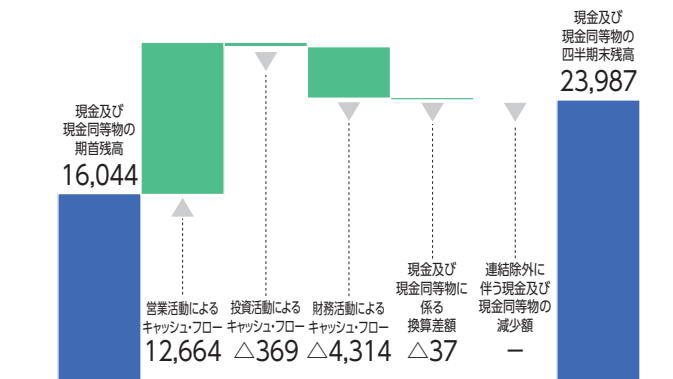


当中間期(2019年4月1日～2019年9月30日)



● 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

当中間期(2019年4月1日～2019年9月30日)



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は12,664百万円(前年同期は5,765百万円の収入)となりました。これは主にたな卸資産や売上債権の減少があったことによるものです。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は369百万円(前年同期は2,950百万円の支出)となりました。これは主に定期預金の預入による支出や有形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は4,314百万円(前年同期は2,225百万円の支出)となりました。これは主に短期借入金の減少があったことによるものです。

株式の状況

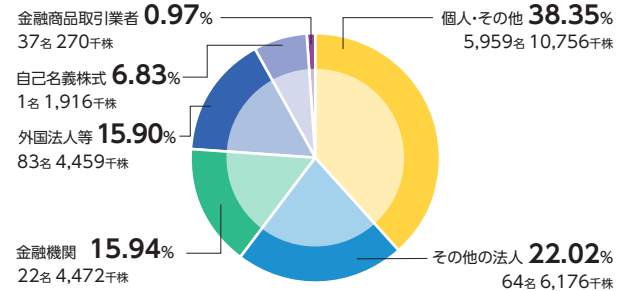
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	28,051,200株
1単元の株式数	100株
株主数	6,166名

大株主

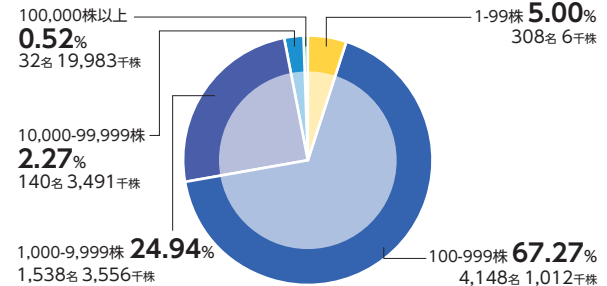
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ARROW ELECTRONICS, INC. 590000	2,350	8.38
一般財団法人丸文財団	2,304	8.21
堀越 毅一	2,027	7.23
丸文株式会社	1,916	6.83
株式会社千葉パブリックゴルフコース	1,399	4.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,096	3.91
合同会社堀越	800	2.85
堀越 裕史	766	2.73
堀越 浩司	752	2.68
堀越 百子	602	2.15

株式の分布状況

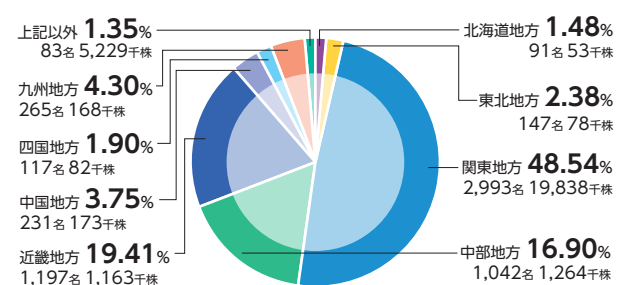
所有者別



所有株数別



地域別



■ 会社概要

会社名	丸文株式会社 (英文名称 MARUBUN CORPORATION)
所在地	〒103-8577 東京都中央区日本橋大伝馬町8-1
設立	1947年（昭和22年）
創業	1844年（弘化元年）
資本金	6,214,500,000円
従業員（単体）	811名（2019年4月1日現在）
主な事業内容	半導体・電子部品、電子応用機器を国内外で 販売するエレクトロニクス商社

■ 役員

代表取締役社長	水野 象司
代表取締役副社長	岩元 一明
常務取締役	飯野 亨
常務取締役	藤野 聡
取締役	小松 康夫
社外取締役 監査等委員	柿沼 幸二
社外取締役 監査等委員	茂木義三郎
社外取締役 監査等委員	渡邊 泰彦

■ 国内拠点

本社
 中部支社
 関西支社
 大宮支店
 立川支店
 郡山オフィス ※2019年11月1日開設
 宇都宮オフィス
 長岡オフィス
 北陸オフィス
 長野オフィス
 松本オフィス
 三島オフィス
 静岡オフィス ※2019年10月1日開設
 京都オフィス
 広島オフィス
 九州オフィス
 南砂テクニカルセンター
 東日本物流センター
 南砂物流センター

■ 主なグループ会社



■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月に開催
基準日 定時株主総会、期末配当：毎年3月31日
中間配当：毎年9月30日
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.marubun.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じた時には、日
本経済新聞に公告いたします。)

株主名簿管理人 (特別口座管理機関)
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

【ご注意】

- (1) 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いたします。

IR情報メール配信登録のご案内

当社の情報を迅速にお届けするため、IRに関するプレスリリースやコンテンツの更新を行った際に電子メールにてお知らせいたします。

ご登録は、当社ホームページにて承っております。

<https://www.marubun.co.jp/ir/irreg1.html>

Ⅰ 単元未満株式保有の株主様へ

単元未満株式（100株未満の株式）の買取りにかかる手数料を無料としています。是非ご利用ください。

単元未満株式の 買取制度	市場で売却できない単元未満の株式を 当社が市場価格で買取りする制度です。
-----------------	---

買取制度の例(150株ご所有の場合)



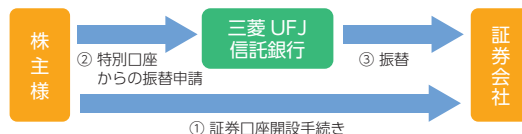
お問合せ先	口座を開設されている証券会社等 ※特別口座の場合は、三菱UFJ信託銀行
-------	--

Ⅱ 証券会社にお預けではない株式について

ご所有株式は、「特別口座」で管理されています。特別口座では株式を市場で売買できないなどの制約がありますので、証券会社の口座へ移されることをお奨めいたします。

**「特別口座」から証券会社の口座への振替方法に
つきましては、以下の手順にて、振替が可能です。**

- ① 証券会社に株主様ご名義の口座を開設
- ② 三菱UFJ信託銀行に振替申請
(電話 0120-232-711 〈通話料無料〉)
- ③ 三菱UFJ信託銀行が振替処理



なお、詳しいお手続き等は、左記の特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。